

未来への軌跡

志を持ち、未来を創ろう！ 気付き、考え、動く翁中生！

翁頭中学校だより
1月16日 第16号
文責 校長 山下



新年、あけましておめでとございませう。今年もよろしくお願ひします。新年早々発生した能登半島地震や羽田空港での飛行機事故により、多くの方が亡くなられました。心より御冥福をお祈りするとともに、一日でも早く地震が収まり、これ以上の被害がでないことを願っています。さて、新年の幕開けと同時に、令和5年度の集大成である3学期が始まりました。新年を迎えるにあたっての私の目標は、「未来に向けて、翁中生を誠の人に育てる」です。先日の始業式では、各学年代表の田口大誠さん、平山文明さん、有川草汰さんが、3学期の決意について堂々と述べる事ができました。私からは次のような話をしました。

3年生は、「翁中生としての誇りを胸に、卒業できるように」1・2年生は、「翁中生としての誇り胸に、進級できるように」なりませう。そのために、意識してほしいことを大きく二つ。

一つ目は、「翁頭宣言『未来への誓い』を主体的に実践しよう」ということです。「未来への誓い」で重視されているのは心の教育です。心を鍛えることで心が育ち、心が育てば学力は付いてくると言われます。そのために、「思いやりの挨拶」「心を磨く清掃」「両手での靴並べ」「校門での礼」は始まりました。これらが自ら進んでできる人は、自分を支えている家族をはじめとするいろいろな人や学校、あるいは地域に感謝の気持ちを持っている人、つまり、感謝の心が育っている人です。

二つ目は、「それぞれの学年で必要な学力を身に付けて卒業・進級するように努力しよう」ということです。そのためには、授業が最も重要ですが、授業に臨むための家庭学習にも力を入れてほしいと思います。家庭学習は何のために行うのか。激動の社会を生き抜き自分の未来を切り拓くための学力を身に付けるためです。

3年生は、卒業式の日、「翁頭中の生徒、そしてこの学級で本当に良かった。」と心から感謝できるように、1・2年生は、修了式の日、「この学級で、みんなと一緒に進級したい。」と心から思うことができるように、「みんなが助け合いながら力を合わせて取り組んでいきましょつ。」



生徒会活動の実践から

〜能登半島地震への義援金について〜

始業式の翌日、校長室に野原新生徒会長をはじめ、新生徒会本部役員の皆さんが来室しました。何事かと思いましたが、「校長先生、能登半島地震で被害に遭われた方々への募金活動をしたい。」という訴えでした。自分たちで気付き、自分たちにできることはないかを考え、すぐに動く。新生徒会のやる気を感じるすばらしい活動です。もちろん、すぐに快諾し、自分たちで方法を考えてぜひ実践してほしいことを伝えました。

募金活動については、保護者への依頼文書を配付しています。その裏面には、生徒会が計画した募金活動について掲載しています。ぜひ、皆様の御協力をよろしく願ひします。



【3学期学級委員】

- 1年 白濱 琉唯・田中千之助
- 2年 黒川 愛唯・松本 湊
- 3年 餌網代海輝・萩里瑠比

全国大会、頑張ってください

ロボコン全国大会が、今週末に東京で開催され、がんばレベッカチーム（出口健誠、樋口和輝）が参加します。



昨日の激励式では、2人ともすばらしい決意を述べました。五島からの熱い応援をお願いします。

1月

- 18日：2年GTEC
- 19日：1年GTEC
- 20日：ロボコン全国大会
- 21日：ロボコン全国大会 家庭の日
- 23日：部活動振興会役員会
- 24～26日：2年職場体験学習
- 27日：ソフトテニス春季大会
- 28日：柔道九州選抜予選
- 31日：新入生学校説明会

【学ぶ機会】

地震で大きな被害を受けた石川県輪島市では、市内の中学生のうち、希望する生徒全員の集団避難を明日から始めるという。

高校受験を控えた生徒の保護者は、「危険なところにいるよりは、学べる環境で過ごしてもらいたい。」という。持病をもつ生徒の保護者は、「避難生活であっても勉強してもらいたいが、私たちの元から離すのは不安。」であり、今の避難所で自主学習をサポートするという。避難生活を強いられる子どもたちには、学ぶ機会を均等に確保できる環境が、街の復興とともに、一日でも早く整備されることを切に願う。同時に、当たり前のように学ぶ機会を確保されている私たちは、今のこの時間を大切にしなければならぬと強く思う。